

令和2年度
日本赤十字社千葉県支部
活動報告

災害からいのちを守る赤十字



日本赤十字社千葉県支部が行っている災害救護活動や救援物資の配布、
防災・減災活動の普及、救急法等の普及、
赤十字ボランティアの育成などの赤十字活動は、国や県からの公的資金によらずに、
皆様からお寄せいただく活動資金によって支えられています。
皆様からお寄せいただいた活動資金をもとに、
令和2年度に行った活動をご報告します。

活動資金へのご協力、ありがとうございました。



日本赤十字社 千葉県支部
Japanese Red Cross Society

あなたが支える赤十字活動

「苦しんでいる人を救いたい」その思いを実現するため、国内外において様々な人道的活動を展開しています



皆さまからのあたたかいご支援、ありがとうございました。
今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

千葉県支部の事業・活動 (令和2年度) 人間のいのちと健康・尊厳を守るために

① 災害救護体制の充実・強化 289,482千円

地震などの大規模災害に備えて

- 医療救護班の常備 成田赤十字病院等に14個班
- 救護要員の研修 9回 延べ208人
- 災害救護訓練 3回 延べ41人
- 赤十字防災セミナーの開催 2回 105人
- 防災ボランティア登録者数 543人



傷病者の手当をする医療救護班 (航空機事故消火救難訓練)



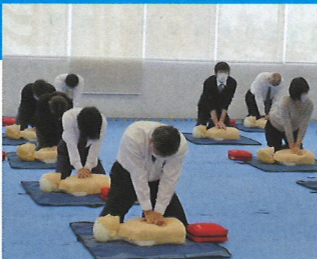
救援物資運搬訓練

② 健康・安全のための知識と技術の普及 17,031千円


いのちと健康を守るために

- 救急法講習会 4,024人
- 健康生活支援講習会 50人
- 幼児安全法講習会 62人
- 水上安全法講習会 69人

※新型コロナウイルス感染症の感染防止を図るため、安全対策マニュアルを策定するなど、講習参加者の感染予防を最優先にしながら各種講習会を実施しました。



救急法講習会




健康生活支援講習会

③ 国際活動に参加 3,506千円

世界中で苦しむ人々のために

- 救急法普及支援事業 ラオス、東ティモール
- 青少年赤十字海外支援事業 ネパール、バヌアツ
- 紛争犠牲者支援事業 南スーダン




海外赤十字社 救急法普及支援事業
※写真は平成30年度のもの


④ 義肢製作所の運営 53,348千円

身体に障がいのある方の不便を軽減するために

- 義肢・装具の製作・修理 509件
- 訪問サービス 250回 延べ901人



義足の作製




訪問先での義足の調整

⑦ 赤十字奉仕団による活動 21,355千円

より良い地域社会の実現を目指して

- 赤十字奉仕団 (赤十字ボランティア) 67団 7,457人
- 防災訓練への参加、防災・減災活動の普及、救急法の普及、献血の推進等
- 新型コロナウイルス感染症禍における地域支援活動

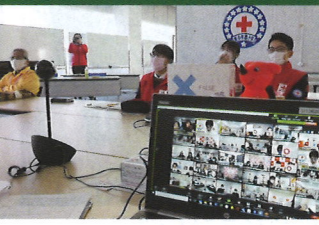


高齢者サロンの運営


⑧ 青少年赤十字活動 18,442千円

自ら「気づき、考え、実行する」子どもたちを育てるために

- 青少年赤十字採用校 245校 (園) 51,223人
- 防災教育教材を活用した、子どもたちへの学習支援
- 本社主催オンライン国際交流会への参加



オンライン国際交流会への参加




防災教育教材 「まもるいのち ひろめるぼうさい」


⑨ 赤十字精神と社旨の普及、広報活動 108,248千円

県民の皆さまに赤十字をもっと知っていただくために

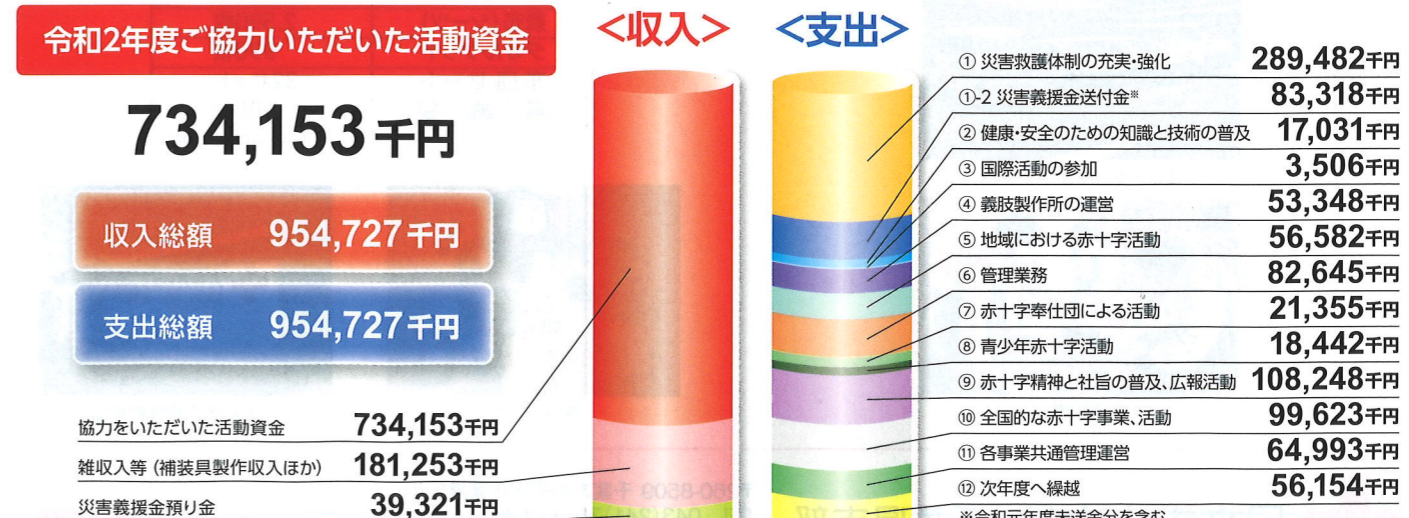
- ホームページのリニューアル
- SNSによる情報発信の強化
- 広報誌「赤十字NOW」の発行等



広報誌「赤十字NOW」



「ちいき新聞」(防災特集号)



決算額は千円未満を切り捨てているため、合計額とは一致しません。
災害義援金としてお預かりした資金は、その全額を被災された方々にお届けします。

令和2年度決算については、千葉県支部令和3年度第一回評議員会及び日本赤十字社第98回代議員会において承認されたものです。

新型コロナウイルス感染症に対する活動報告

医療活動の展開

新型コロナウイルス感染症発生当初から、必要とされる現場で医療支援を実施しました。



軽症者療養施設への医療看護班派遣



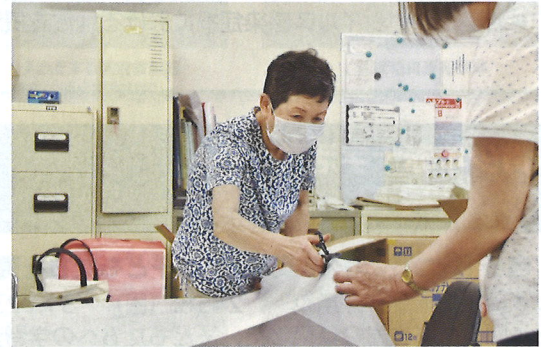
成田赤十字病院における受け入れ対応

コロナ禍におけるボランティア活動

感染防止対策を徹底したうえで、地域への貢献や、医療従事者への支援活動を実施しました。



感染症対策の普及啓発活動



医療従事者向け資材の作製

皆様のご支援により、大規模災害に備えるための救護装備を整備することができました。また、被災者にお届けする救援物資を、県内9か所にある支部拠点倉庫に備蓄しています。

令和2年度に整備した主な資機材

- 地区・分区赤十字用自動車 7台
- 災害救援物資（緊急セット） 300セット
- 感染防護具（ガウン・マスク・手袋・ゴーグル等） 1,000セット
- 災害救援物資保管倉庫修繕（旭市）
- 災害救援物資保管倉庫修繕（茂原市）



地区・分区用赤十字車両



感染防護具

救援物資の備蓄状況

救援物資名	在庫数
毛 布	27,690枚
緊急セット	1,146セット
安眠セット	1,565セット
日用品セット	1,660セット
バスタオル	1,780枚
ガーゼケット	2,970枚
敷布(シーツ)	2,590枚
タオルケット	990枚
布団セット	32セット
収 納 袋	280枚

(令和3年3月末現在)



緊急セット



災害救援物資保管倉庫